

目 次

TA プロジェクト「取引ガイドライン」について.....	1
なぜ、TA プロジェクト取引ガイドラインが必要なのか？	2
TA プロジェクト「取引ガイドライン第二版」(VER.1)について	4
TA プロジェクト「取引ガイドライン第三版」について.....	5
I.取引モデル編・標準項目と内容の解説編	7
1.TA プロジェクトが提唱する取引モデルとは？	8
1.1「取引ガイドライン」における取引とは？	8
1.2「取引ガイドライン」における契約プロセス・発注プロセスについて	11
2.誰と誰が取り決めをするのか？ 直接取引における発注者・受注者の役割と責任	14
2.1 取引を開始する際に取り決めをする内容	15
2.1.1 基本契約書.....	15
2.1.2 共有する計画項目	16
2.1.3 直接取引における業務条件標準項目	18
2.1.4 発注書に記載すべき項目	27
3.誰と誰が取り決めをするのか？ 間接取引における発注者・受注者の役割と責任	28
3.1 間接取引に関する業務条件標準項目及び「間接取引確認書(例)」等について	30
3.2 間接取引に関する業務条件標準目	31
3.3 OEM 取引に関する業務条件の取り決め項目	33
3.4 発注書に記載すべき項目	37
4.繊維業界における知的財産権の扱いについて.....	38
II.取引対象商品別編.....	40
1.生地取引・染色加工編.....	41
2.副資材取引編.....	48
3.ニット製品取引編.....	54
4.製品取引編(布帛製品)	59
5.ユニフォーム商品取引編.....	63
5.1 TA-百貨店間の「共有する計画情報項目」.....	76
6.TA-縫製業取引編.....	80
III.導入手順編.....	94
1.「取引ガイドライン」導入手順について	95
1.1「取引ガイドライン」導入のステップの考え方	95

1.2「取引ガイドライン」にあたって注意すべき点	96
1.3 企業内における役割分担の考え方	96
2.導入手順における各ステップの検討内容	98
2.1 実態調査における自社の状況把握	98
2.2 取引先との調整	105
2.3 パイロプロジェクトの実施(例)	105
2.4 本格的導入	108
IV.「取引ガイドライン」における用語の定義	109
参考資料	112
1.基本契約書サンプル(例1・例2)	113
2.TA プロジェクト間接取引モデル契約書(例)	119
3.間接取引確認書(例)	123
4.ユニフォーム商品取引個別契約書(例1・例2)	125
5.計画情報共有シート・サンプル	139
6.業務条件確認シート・サンプル	142
7.品質試験要領と品質試験成績報告書	145
8.委託加工契約書(例)	149